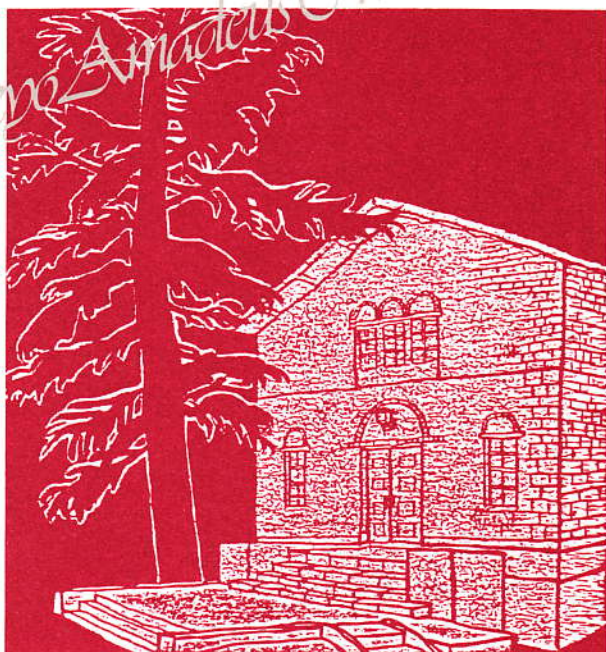


東京アマデウス合唱団

第11回定期演奏会

Tokyo Amadeus Chorus



'91 2/3

石橋メモリアルホール

Program

1

J.M. Haydn

J. ミハエル・ハイドン

ヴェスペレ

——主日のための晩課——

Vesperae solemnes de Dominica MH289

2

W.A. Mozart

W.A. モーツァルト

リタニア

——尊き聖体の秘跡のための連祷——

Litaniae de venerabili altaris sacramento KV243



ご あ い さ つ

本日は東京アマデウス合唱団の第11回定期演奏会にお越し
頂きまして、ありがとうございます。

われわれは一昨年11月、節目である第10回定期演奏会を終
え、いよいよ今日、新たなる10年の第一歩をしるします。

今日の演奏会では、モーツァルトの友人であり、彼に多大
な影響を与えたミヒャエル・ハイドンのヴェスペレと、モー
ツァルトの知らざる傑作である リタニア を取り上げまし
た。

この二曲とも日本ではほとんど演奏されたことがないので
すが、どちらも、時代様式を反映した名曲でして、この機会
に皆様にお聴かせできることを、団員一同無上の喜びと感じ
ております。

時は1991年。巷ではモーツァルト没後200年の声も次第に
賑やかになってまいりましたが、われわれはその洗礼名を戴
く合唱団として、その名に恥じぬよう頑張りますので、どう
ぞ最後までお聴き下さい。

Program Notes

はじめに... ミヒャエル・ハイドン

ミヒャエル・ハイドンはかの有名なヨゼフ・ハイドンの5つ下の弟です。

1737年 9月14日の生まれですので、モーツァルト（1756年生まれ）より19才年上ですね。音楽的才能のあった彼は、兄同様ロイターの指導を受けました。その後1757～1762年の間、グロースヴァルダイン（現ルーマニアのオラデア）の司教座大聖堂の楽長をつとめた後、1763年、時の大司教の招きでザルツブルグへ移っています。役職は〈宮廷楽団の第2コンサートマスター〉でした。ちなみに、モーツァルトは1770年から彼の下で〈第3コンサートマスター〉となっています。

1782年以降は、コロレド大司教の教会音楽の改革に身を捧げ、1790年にはドイツ語の聖歌集第一集を出版しています。生前は兄に勝るとも劣らないほど著名でしたが、結局最後までザルツブルグを動かず、1806年 8月10日に亡くなっています。68才でした。その作品は死後次第に忘れ去られていましたが、最近の東欧自由化の影響で見直しの機運が赤丸急上昇です。

彼はまた、教育にも力を捧げ、弟子にはウェーバー、ディアベリといった有名な作曲家がいます。

モーツァルトとは大変仲がよく、音楽的に大きな影響を与えたといわれ、エピソードもいろいろ残っています。

たとえばモーツァルトの2曲の「ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲（K.423,424）」は、1783年病気でピンチに陥っていたミヒャエルを救うために、モーツァルトが代作したものですし、昔からモーツァルトの「交響曲第37番（K.425a）」と言われていたものは実はミヒャエルの作品でした。

さて... ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

彼については、多弁を弄する必要はないですよ。解説書は星の数ほど出ていますので、そちらをどうぞ。ただ、今年は没後200年の記念の年です。こんな年はこの次では西暦2056年（モーツァルトの生誕 300年）までやってきません。今年はかけがえのないモーツァルト・イヤーです。

つぎに... ヴェスベレ〈晩課〉

正式には〈主日のための晩課〉といます。「晩課」はキリスト教の課業のひとつで「夕べの祈り」とも訳されていて、ルネッサンスの時代から曲が付けられていました。著名な作曲家ではモンテヴェルディ、ヘンデル、モーツァルトらの作品が残されています。

ところで、この作品ですが〈主日のための晩課〉といわれていますが、実際の主日（日曜日）に使われる晩課とは使われているテキスト（旧約聖書の詩編です）が違います。この曲でつかわれているのはモーツァルトの2曲（〈主日のための晩課（K.321）〉及び〈証聖者のための盛儀晩課（K.339）〉）とまったく同じものでして、これらは本来は「司教でない証聖者のための盛儀晩課」に使われるものです。こういったことについてコロレド大司教はやかましかったので、これら3曲はいずれも「司教でない証聖者のための盛儀晩課」に使われたものと考えられます。実は、コロレド大司教の名前はヒエロニムスといいますが、この名前の由来である聖ヒエロニムスが司教でない証聖者なのです。したがって、3曲ともその祝日のために作曲されたものと考えていいでしょう。

最後に... リタニア〈聖体連禱〉

正式には〈尊き聖体の秘跡のための連禱〉といます。「連禱」とは、先唱者が祈りを唱えた後で群衆が簡単なフレーズを唱えるという祈りの形式のことです。18世紀には結構はやっていたようで、モーツァルトはテキストの違う2種類〈聖母連禱〉〈聖体連禱〉を2曲づつ作曲しています。

今日演奏されますのは4曲の中でも質・規模共に群を抜いている最後の〈聖体連禱〉です。作曲は1776年 3月ですから、モーツァルト20才の作品ですね。全体は9曲からなっていて、各曲の最後に「われらをあわれみたまえ（ミゼレーレ・ノービス）」という歌詞が入ります。

ザルツブルクでの作と言われていますが、当時の彼のミサと違い、編成・内容共にコロレド大司教の制約に反して自由奔放に作曲をしているため、ザルツブルク教会では演奏できなかったはずで、その動機・目的は良くわかりません。恐らくだれかの個人的な依頼によるものではないでしょうか。

なお補足ですが、テノール・ソロの第2曲「活けるパン」の主題は、後にレクイエム（K.626）の中で、「妙なるラッパ」の主題として使われています。また、ソプラノ合唱のみで歌われる特異な第7曲「臨終聖体」でつかわれている主題はグレゴリオ聖歌の「舌よ歌え（パンジェ・リングァ）」です。

古沢 忠久

Profile

指揮

齋藤明生

東京芸術大学卒業。同大学院修了。R. フィッシャー, Ph. フッテンロッハー, 池宮英才, 小林道夫の各氏に師事。「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ」「メサイヤ」などのソリストを務める。現在東京バッハアカデミー講師, 芸大バッハカンタータクラブ演奏委員長, ヴォイス・ラボ所属。1987年11月より当合唱団の指導に当たっている。

ソプラノ

高橋節子

東京芸術大学卒業。同大学院在学中。伊原直子, 戸田敏子, 藤田道子の各氏に師事。バッハ「カンタータ140番」「カンタータ106番」モーツァルト「ミサ曲ハ短調」「ヴェスペレ」等のソリストを務める。芸大バッハカンタータクラブに在籍。

アルト

雁部伸枝

東京芸術大学声楽科4年在学中。声楽を佐々木正利, 伊藤亘行, 伊原直子の各氏に師事。芸大バッハカンタータクラブ, 東京こだまっちょアンサンブル, Sturm und Drang, コロ・ファボリートに在籍。

テノール

片野耕喜

東京学芸大学音楽科卒業(声楽専修)。声楽を遠藤優子, 高橋修一の各氏に師事。在学中より東京, 横浜の合唱団体とモーツァルト「レクイエム」「ヴェスペレ」バッハ「ロ短調ミサ」「カンタータ106番」, ヘンデル「メサイヤ」などを共演。

バス

野本立人

東京芸術大学卒業。同大学院在学中。伊藤亘行, 原田茂生, 多田羅迪夫, 羽根功二の各氏に師事。芸大メサイヤのソリストに選抜。モーツァルトのミサ曲, 「第九」などに出演する傍ら, ヴォーカルアンサンブル「トリレンコ」にて現代音楽に取り組む。また合唱指揮者としても活躍中。

オルガン

水野克彦

東京芸術大学卒業。ピアノを滝崎鎮代子, クラリネットを千葉国男, 室内楽を細野孝興, オルガンを今井奈緒子の各氏に師事。現在はピアノ伴奏, オルガン, 通奏低音の他, 合唱指導, 作曲と幅広く活躍。1987年より当合唱団のピアノ伴奏, 合唱指導を担当。

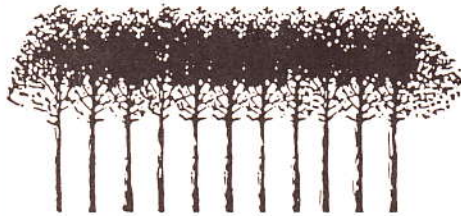
管弦楽

東京アマデウス
管弦楽団

1973年, 指揮者玉置勝彦の門下生とその友人達により結成された。東京大学管弦楽団の卒業生を中心に構成。モーツァルト, ベートーベン, シューベルト, メンデルスゾーン等を始め, ブルックナー, マラー, リヒャルト・シュトラウス等大編成の演奏も行う。1982年以來, 当合唱団とは6回目の共演である。

東京アマデウス合唱団・第11回定期演奏会参加者

ソプラノ/落合直子 金城恵美子 小林真子 須藤佳代子
鈴木奈々子 鈴木真澄 武智由紀子 長谷川敦子
柳原文女 吉田えみ子 吉野みどり
アルト/伊藤正子 大岩幸子 川島淳子 国府田文子 重泉秀子
高橋理子 辻敏子 辻村順子 平野玲子 野田妙子
宮崎米子 山腰くるみ 山崎孝子 井上やす子
テノール/伊原宏 片岡繁 中屋哲夫 古沢忠久 吉田一郎
ベース/落合良式 根本剛 野口碩 橋本克久 船矢幸一
前川直也 山下敬之



1981 February **Mozart : RÉQUIEM**
1981 November **Händel : MESSIAH**
1982 November **Fauré : RÉQUIEM**
1983 September **Mozart : KRÖNUNGS MESSE**
1984 September **Mozart : RÉQUIEM**
1985 October **Bach : KANTATE Nr.106**
1986 October **Mozart : GROSSE MESSE**
1987 October **Schütz : MUSIKALISCHE EXEQUIEN**
1988 December **Mozart : VESPERAE**
1989 November **Mozart : RÉQUIEM**
1991 February **Mozart : LITANIAE**